

野田市の自然と共生する地域づくり

～コウノトリをシンボルとした自然再生～

【野田市の自然再生の取組の始まり】

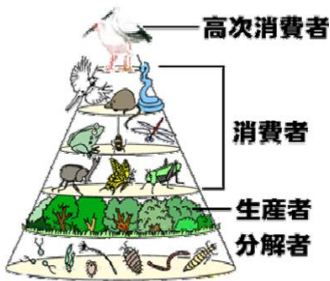
野田市の南東部にある「江川地区」は貴重な動植物が生息しているながら、耕作放棄が進み、荒れ地となり、宅地整備計画が持ち上がりながらも破綻するということがありました。

市では昔ながらの田園風景を守るため、「自然環境保護対策基本計画」を作成し、江川地区における自然と共生する地域づくり事業や環境に優しい農業を広げること、さらに多くの生き物が生き続けられるエコロジカル・ネットワークの形成に取り組み、その結果、多くの生き物が戻ってきました。



江川地区で見ることができる生き物や植物

【なぜ、コウノトリなのか？】



多くの生き物が生息できる豊かな自然環境を保全・再生する取組を継続するためには、「**自然再生の取組を定着させること**」が必要となります。そのためには、希少性が高くかつ親近感をもて効果分かりやすいシンボルが必要であると考え、田んぼの食物連鎖の頂点に立つコウノトリを野田市の自然再生におけるシンボルとし、平成24年12月に東京都多摩動物公園からコウノトリのペア（2羽）を譲り受け飼育を開始しました。

田んぼの生態系ピラミッド
コウノトリは多くの生き物がいないと生きていけない！

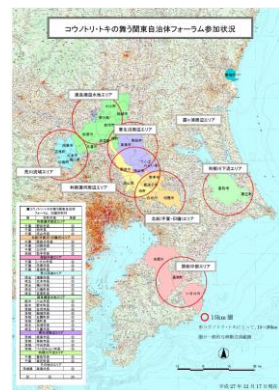
逆にいえば…



コウノトリが生息し繁殖できるということは、その地域に多様な生物が生息できる環境があること、また人間にとっても安全安心で健康な暮らしができる環境であることを意味しています。

【広域的な取組】

自然再生の取組は野田市だけでなく、多くの自治体に取り組んでいます。野田市の取組は点の取組でしかないため、利根運河を回廊として周辺の自然豊かな地域を繋いでいくことで、広域なエコロジカル・ネットワークの形成に取り組んでいます。



また、関東エコロジカル・ネットワークとして、7つのエリアにおいて30自治体が結集し、「コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム」を組織しています。

【野田市が目指すもの】

野田市の自然再生の取組は

未来を託す子ども達に夢を与えること

自然環境を次世代に残していくこと



自然再生の取組を広げるための新たな段階として

コウノトリの野生復帰

～野田市のコウノトリが大空を飛び、生き物がたくさんいるところで育ってほしい～

につながる大切な取組です。



こんな風景が関東で見れることを願って…
(先進市である兵庫県豊岡市のホームページより)

野田市の小さな取組が、多くの皆さまにご支援、ご協力をいただき大きく広がるよう応援してください！！